広報

常陸大宮

2006
4
No.19

主な内容

常陸大宮市の18年度予算 …… ②～⑤
常陸大宮市議会 …… ⑥
介護保険制度が改正されます …… ⑧～⑩
公共下水道事業認可区域を拡大 …… ⑫～⑬
市㊟ってニュース …… ⑮～⑰
18年度市役所の執行体制 …… ⑱～⑳

春の気配に 足取り軽く

三太の山郷ハイキングで、春の気配を満喫しながらウォーキング。思わず笑顔がこぼれます。

平成18年度常陸大宮市予算

豊かな自然と調和した安心・快適な活力のあるまちづくりを目指して

3月に開かれた常陸大宮市議会定例会で今年度の予算案が可決されました。そこで、一般会計を中心にその内容をお知らせします。

依然として厳しい状況
一般会計は前年度比18・4％減

平成18年度一般会計の予算総額は、209億4千万円で、常陸大宮済生会病院建設事業関係予算の減により前年度の予算総額に比べ18・4％の減となりました。また、一般会計のほかに11の特別会計と上水道事業の企業会計を設置しており、特別会計の予算総額は、157億7、388万5千円、上水道事業は、収益的支出と資本的支出の合計額で11億4、647万7千円となりました。これらの全会計を合わせた常陸大宮市の総予算規模としては、378億6、036万2千円となりました。

市の財政状況は、国で進める三位一体の改革に伴い、歳入において国庫支出金等の大幅な減収が見込まれるとともに、市税収入も大きな伸びが期待できないことから、歳入の確保はさらに厳しい状況にあります。また、歳出では、公債費や扶助費等の増大、介護保険事業等の特別会計への繰出金の増額などにより、極めて厳しい予算編成となりましたが、事務事業の厳選と経常経費の徹底した見直しを行い、山積する行政課題、多様化する市民の皆さんの要望に対応していくため、国、県補助金や合併特例債等の活用により諸施策実現のための財源を確保し予算編成を行いました。

平成18年度の主な事業については、新市建設計画の将来像を実現するため、次の6項目のまちづくりの方針に沿って、各種事業の優先度、緊急度を考慮しながら事業の推進を図ります。

1. すこやかに安心して暮らせるまちづくり
2. 豊かな自然と調和した住みよいまちづくり
3. 人に優しく安全で快適なまちづくり
4. 活力にあふれ安定して働けるまちづくり
5. 個性と文化を育むふれあいのまちづくり
6. 協働のまちづくり

すこやかに安心して暮らせるまちづくり

市民の皆さんが健康で、かつ安心して生活していくため各種健康づくりの施策を充実するとともに、県北西部地域の中核となる常陸大宮済生会病院の運営を支援し、地域医療の充実を図ります。

また、高齢者や障害者などが安心して暮らせ、子供たちが健やかに育つような環境づくりを進め、保健・医療・福祉が連携して住民主体の地域福祉施策、子育て支援施策の充実強化を図ります。

すこやかに安心して暮らせるまちづくり〔福祉・保健・医療〕

主な施策・事業

- 自動体外式除細動器整備事業
- 在宅福祉サービスセンター運営
- 子育て環境の整備促進及び子育て支援の充実
- 高齢者福祉タクシー事業
- 身体障害者及び知的障害者への支援費事業
- 放課後児童健全育成事業
- 民間学童保育事業
- 介護保険（介護サービス）の充実
- 地域支援事業の創設
- 地域ケアシステムの推進
- 養護老人ホームへの保護措置事業
- 福祉手当（児童扶養手当・母子・父子）支給事業

豊かな自然と調和した住みよいまちづくり

住民生活の向上を図るため昨年度策定した基本計画に基づき、市内循環交通システムを構築・運行するとともに路線バスの運行を支援し、公共交通機関の確保・拡充を図ります。また、市民の皆さんに最も身近な生活道路については、安全で快適な生活を確保するため市道の整備を計画的に推進します。

豊かな自然と調和した住みよいまちづくり〔都市基盤整備〕

主な施策・事業

- 市内循環交通システム運行事業
- 市道の整備
- 水辺環境の保全

人に優しく安全で快適なまちづくり

生活環境の改善と公共用水域の水質保全のため、地域の特性に応じて公共下水道、農業集落排水事業の推進や合併処理浄化槽の整備、普及に努めるとともに、行政・事業者・住民が一体となった環境対策を推進するための基本となる「環境基本計画」の策定に取り組みます。

また、環境への負荷の少ないエネルギー利用を促進するとともに、ゴミの減量化及びリサイクル運動を推進し、環境保全、廃棄物処理対策に努めます。

消防・防災体制の整備については、昨年度策定した地域防災計画に基づき市内全域の防災体制の整備を計画的に推進します。機動的で効果的な消防体制を充実させるため、常備消防の強化や施設・設備の整備を図るとともに、おおみや消防広場の拡張整備を行い、非常備消防団員の訓練実施により、能力向上を図り、消防団組織、防災体制の強化を図ります。

人に優しく安全で快適なまちづくり〔生活環境・消防・防災〕

主な施策・事業

- 上水道の整備
- 下水道の整備、生活排水対策
- 合併処理浄化槽の普及促進
- チャイルドシート購入助成
- ゴミの減量化、再資源化への諸施策
- 環境基本計画策定事業
- 住宅用太陽光発電システム設置助成
- 省エネルギー推進事業（二酸化炭素冷媒ヒートポンプ給湯器導入助成）
- 市営住宅マスタープラン策定事業
- 宅地開発分譲事業（泉地内）
- 消防施設（コミュニティ消防センター、おおみや消防広場、防火水槽等）の整備
- 消防車両（小型動力ポンプ付積載車、消防ポンプ自動車、高規格救急車等）の整備
- 交通安全教育の推進（交通安全教育指導員による指導啓発等）
- 消費者行政の推進（消費生活センターの設置）

活力にあふれ安定して働けるまちづくり

生産性の高い優良な農地の保全を図るため農業振興地域整備計画を策定します。また、農地流動化による農家規模の拡大を推進するとともに新規就農者等への支援や相談などを通して、安定的な農業経営の推進を図ります。

また、農業生産基盤及び生活環境の整備を図るため、県単土地改良事業や基盤整備促進事業を導入し、農道及び農業集落排水の整備を推進します。

森林の持つ公益的機能を維持、増進するため、林道及び作業道の計画的開設や、林業を産業として再生を図るために森林整備地域活動支援交付金などの補助制度や林業作業システム整備事業、地域産業の育成を図るため引き続き木造住宅建設助成金交付事業を実施します。

商工業の発展と地域振興を図るため、商工会への助成、中小企業育成のために自治金融利子補給等を実施するとともに、新たに企業誘致推進室を設置し、宮の郷工業団地への企業誘致を推進します。

活力にあふれ安定して働けるまちづくり〔産業の振興〕

主な施策・事業

- 農業振興地域整備計画の策定
- 山間急傾斜地帯土地改良事業
- 有害鳥獣捕獲事業
- 水田農業構造改革対策事業
- 新規就農者等支援制度助成事業
- 農道の整備
- 木造住宅建設助成事業
- 森林資源利活用推進事業
- 森林整備地域活動支援交付金事業
- 森林整備担い手対策事業
- 林道整備事業
- 商工会助成を通じての商工業振興
- 宮の郷工業団地企業誘致の推進
- 観光資源活用と観光イベントの充実

個性と文化を育むふれあいのまちづくり

ＴＴ非常勤講師や、学校教育指導員等を配置し学校教育の充実を図ります。また、新たに教育支援センターを設置し、小中学校の不登校児童生徒や家庭、学校に対し適切な援助、指導を行います。

市内小学生と秋田県大館市小学生との友好交流事業を実施し、文化遺産見学等を通じて郷土の歴史を学び、友情を深め、視野を広げます。

御前山統合小学校整備事業、山方中学校体育館周辺整備事業、小学校図書室等の空調システム整備事業を実施し、教育環境の充実を図ります。

青少年の健全育成を推進するため青少年育成常陸大宮市民会議、市子ども会育成連絡協議会及び常陸大宮ふれあいの船実行委員会等への積極的な支援を行うとともに、高校生会への助言指導を行います。

他地域との交流を通じて文化の交流、産業の振興及び経済の発展をめざし、豊島区等との地域間交流事業を積極的に実施します。

生涯学習を推進するため指導者養成講座を開催するとともに、文化センター、公民館、図書館等各施設で開催する各種事業の充実を図ります。

また、図書館のネットワーク化を推進するため図書館システムを整備します。

郷土文化の伝承及び後継者育成を支援するとともに、市内各地域にある文化財等を中心とした企画展を開催し、郷土の歴史文化の学習機会を提供します。さらに、文化財として指定されている西ノ内紙の原料生産から紙漉きまでの工程を映像記録する西ノ内紙映像記録化事業を実施します。

市体育協会の充実、強化と地区体育祭への助成を行うとともに、「いつでも、どこでも、だれでも」楽しめるスポーツの拠点として総合型スポーツクラブの設立を関係団体等とともに推進します。

市民プール（児童用）、家和楽運動公園テニスコート、美和運動公園夜間照明、緒川総合運動公園等の整備を行い、生涯スポーツの普及、推進を図ります。

個性と文化を育むふれあいのまちづくり〔教育・文化〕

主な施策・事業

- 小中学校施設整備事業（御前山統合小学校・山方中体育館周辺整備）
- 小中学校空調システム整備事業（非常勤講師配置）による学校教育の充実
- ＴＴ配置事業（非常勤講師配置）による学校教育の充実
- 学校教育指導員等（学校教育指導員・少人数学級指導助手・障害児介助員等）配置による学校教育の充実
- 小中学校英語指導助手等配置による英語教育の充実
- 教育支援センターカウンセラー・相談員配置による不登校児童生徒及び家庭への指導援助活動の充実
- 市内小学生と秋田県大館市小学生との交流
- ふれあいの船体験事業
- 学校建物等環境の整備、備品の充実
- 幼稚園入園児の保護者負担軽減措置
- 地域間交流の推進
- 青少年健全育成団体等の活動支援
- 生涯学習推進事業
- 図書情報館の充実
- 市体育協会への助成等による社会体育の振興
- 総合型地域スポーツクラブの創設・育成の推進
- 市営プール整備事業（児童用プール新設）
- 公民館活動の充実
- 郷土文化後継者育成支援事業
- 西ノ内紙映像記録化事業

協働のまちづくり

合併時の新市まちづくり計画を基本としながら、まちの将来像や取組みを体系的に整理し、それを実現するための市総合計画を策定します。

住民の自主的、自立的なまちづくりを推進するため、広報紙等による情報提供や地域審議会、まちづくり講座等を開催し、住民と行政の協働のまちづくりを実現するため、適切な連携体制を構築し、一層の住民参加を推進します。

また、国際社会に対応できる人材の育成を図るため中学生海外派遣事業を引き続き実施します。

さらに、男女共同参画社会の推進を図るため、フォーラム、講演会及び講座等を開催するとともに女性活動団体への支援を行います。

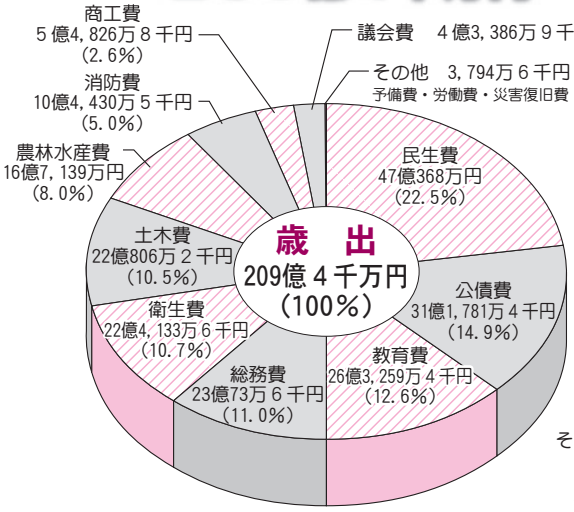
協働のまちづくり〔地域コミュニティー・男女共同参画〕

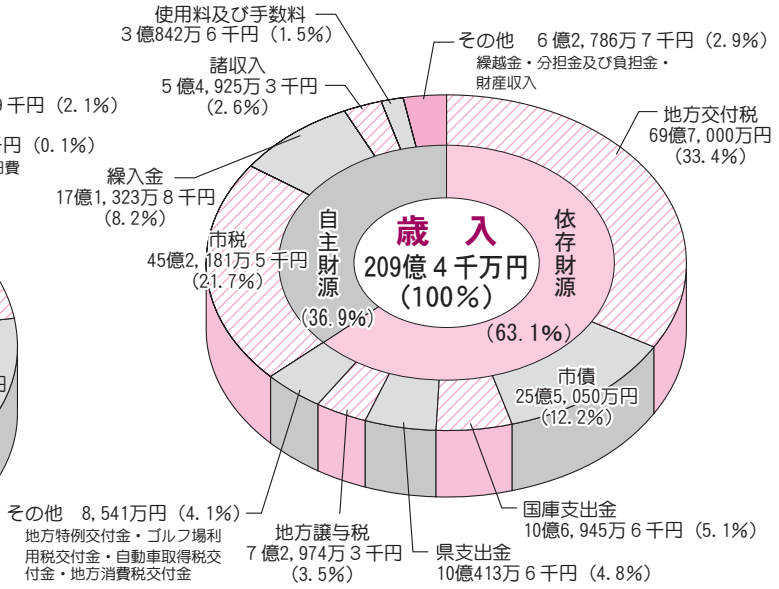
主な施策・事業

- まちづくり講座の実施
- 市総合計画の策定
- 中学生海外派遣の実施
- 男女共同参画意識の啓発及び女性団体活動支援
- 広報の充実
- 地域審議会
- 情報公開の推進
- 行財政の効率化

グラフで見る　常陸大宮市の平成18年度予算

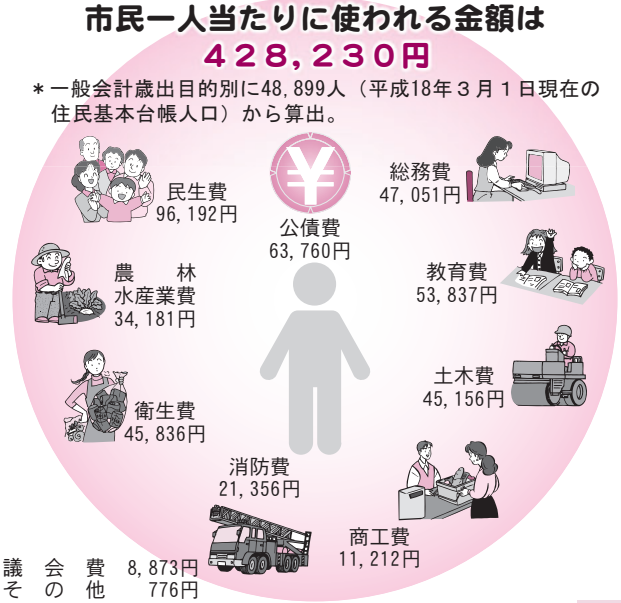
一般会計予算総額
２０９億４千万円





市民一人当たりに使われる金額は
４２８，２３０円

＊一般会計歳出目的別に48,899人（平成18年３月１日現在の住民基本台帳人口）から算出。



・議　会　費　8,873円
・そ　の　他　776円

＊ 特 別 会 計 ＊

会　計　名		予算額（円）
国民健康保険特別会計		46億7,900万
	事　業　勘　定	44億5,800万
	診療施設勘定	2億2,100万
老人保健特別会計		48億6,738万５千
公共下水道事業特別会計		6億8,700万
公営墓地特別会計		1,110万
農業集落排水事業特別会計		11億3,400万
介護保険特別会計		29億9,700万
簡易水道事業特別会計		9億3,900万
宅地造成事業特別会計		9,300万
戸別浄化槽整備事業特別会計		1億7,800万
那珂地方公平委員会特別会計		40万
温泉事業特別会計		1億8,800万

上水道事業（収益的支出、資本的支出の合計額）	11億4,647万７千

【予算のことば（歳出）】

民生費	高齢者、障害者、児童など福祉全般に使うお金
公債費	借入金を返済するために支払うお金
教育費	教育全般の事務や事業に使うお金
総務費	課税徴収、選挙などの市の総括的な事務に使うお金
衛生費	安全で衛生的な生活のために使うお金
土木費	道路や公営住宅などの整備に使うお金
農林水産業費	農道整備や農林業振興のために使うお金
消防費	消防施設整備や消防署等の活動に使うお金
商工費	商工業などの振興に使うお金
議会費	議会活動などに使うお金
労働費	労働福祉の各種制度に使うお金
諸支出金	基金等の積立金
災害復旧費	災害によって被害を受けた時の復旧に使うお金

【予算のことば（歳入）】

地方交付税	所得税や法人税などの国税の中から、市の財政需要に応じ交付されるお金
市債	長期間における借入金
国庫支出金	事業など特定の目的の財源として国から交付されるお金
県支出金	事業など特定の目的の財源として県から交付されるお金
地方譲与税	地方道路税等、本来地方税に属すべき税源を国が国税として徴収し、市へ譲与されるお金
地方消費税交付金	地方消費税の一部で、市へ交付されるお金
市税	皆さんが市に納める税金
繰入金	基金等から繰り入れられるお金
諸収入	預金利子、雑入など
使用料及び手数料	施設の利用や役務の提供を受けた人から徴収するお金
繰越金	前年度から繰り越した額
分担金及び負担金	特定の利益を受けた人から徴収するお金
依存財源	国や県から一定の基準に基づき交付される収入
自主財源	市が自主的に収入する財源

常陸大宮市議会

第1・第2回臨時会、第1回定例会において次の議案が提出され、原案どおり可決・同意されました。

平成18年第1回臨時会
（1月30日）

可決された議案

○常陸大宮済生会病院循環器系超音波診断装置購入
○（仮称）県北西部地域中核病院建築工事請負変更契約の締結
○（仮称）県北西部地域中核病院機械設備工事請負変更契約の締結
○（仮称）県北西部地域中核病院電気工事請負変更契約の締結

平成18年第2回臨時会
（2月15日）

可決された議案

○美和総合福祉センターの設置及び管理に関する条例
○緒川老人福祉センターの設置及び管理に関する条例
○御前山農産物加工所の設置及び管理に関する条例
○常陸大宮済生会病院放射線等機器購入の変更

平成18年第1回定例会
（3月7日～24日）

可決された平成18年度予算

○一般会計予算
○国民健康保険特別会計予算
○老人保健特別会計予算
○公共下水道事業特別会計予算
○公営墓地特別会計予算
○農業集落排水事業特別会計予算
○介護保険特別会計予算
○簡易水道事業特別会計予算
○宅地造成事業特別会計予算
○戸別浄化槽整備事業特別会計予算
○那珂地方公平委員会特別会計予算
○温泉事業特別会計予算
○上水道事業会計予算

制定された条例

○常陸大宮市豊かな自然と調和したまちづくり基金条例
○常陸大宮市国民保護対策本部及び常陸大宮市緊急対処事態対策本部条例
○常陸大宮市国民保護協議会条例
○常陸大宮市環境基本条例

一部改正された条例

○常陸大宮市部設置条例
○常陸大宮市監査委員条例
○常陸大宮市職員定数条例
○常陸大宮市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例
○常陸大宮市職員の給与に関する条例
○常陸大宮市職員の旅費に関する条例
○常陸大宮市国民健康保険税条例
○山方町、美和村、緒川村及び御前山村の編入に伴う常陸大宮市常陸大宮市国民健康保険税条例の適用の経過措置に関する条例
○常陸大宮市医療福祉費支給に関する条例
○常陸大宮市国民健康保険条例
○常陸大宮市介護保険条例
○常陸大宮市営公園の設置及び管理に関する条例
○常陸大宮市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例
○常陸大宮市農業集落排水事業分担金に関する条例
○常陸大宮市土地開発事業の適正化に関する条例
○常陸大宮市市営住宅条例
○常陸大宮市上水道事業の設置等に関する条例

指定管理者の指定について

○山方ふるさと振興公社
○茨城みどり農業協同組合
○清河会
○常陸大宮市社会福祉協議会
○ふるさと活性化センターみわ
○那珂森林組合
○おがわ地域振興株式会社
○ごぜんやま振興公社
○シルバー人材センター
○東野区

可決されたそのほかの議案

○茨城県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少
○茨城租税債権管理機構規約の変更
○常陸大宮市道路線の認定
○常陸大宮市道路線の廃止
○常陸大宮市道路線の変更

可決された平成17年度補正予算

○一般会計補正予算（第8号）
○国民健康保険特別会計補正予算（第4号）
○老人保健特別会計補正予算（第2号）
○公共下水道事業特別会計補正予算（第5号）
○公営墓地特別会計補正予算（第2号）
○介護保険特別会計補正予算（第4号）
○簡易水道事業特別会計補正予算（第5号）
○宅地造成事業特別会計補正予算（第2号）
○戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算（第3号）
○温泉事業特別会計補正予算（第3号）
○上水道事業会計補正予算（第3号）

可決された平成18年度補正予算

○一般会計（第1号）

同意された人事案件

○監査委員　石川幸太郎（那賀）

議員提出による案件

一部改正された条例

○常陸大宮市議会議員の定数を定める条例

意見書の提出

○医師確保と地域医療の充実を求める意見書
○森林及び林業に関する施策の充実並びに財源確保を求める意見書

第16回

FDH 119

第12回 自衛消防隊指導者研修会

今回の研修会は、平成18年1月8日に発生し死者7人、負傷者3人を出した長崎県の認知症高齢者グループホーム「やすらぎの里さくら館」火災をふまえて、管内の福祉施設の関係者を対象に開催されました。

研修会には13事業所から19人が参加し、消防本部予防課職員から消防用設備や防火管理体制のあり方などの説明が行われ、真剣に耳を傾けていました。受講された方は、「この火災を自分たちの施設に置き換えて考える必要があると感じました」と話していました。

受講風景

危険物講習会を開催

常陸大宮市危険物安全協会（会長・飯田正男）は、3月7日に会員を対象に危険物実務講習会を開催しました。

消防本部予防課危険物担当職員から、昨年4月施行の「地下タンク貯蔵所の技術上の基準に関する事項」、今年4月施行の「給油取扱所に関する事項」等の法令改正点を説明し、その後、日立造船㈱茨城発電所（所長・上野斌）の協力により発電設備を視察しました。

参加者からは、「危険物施設の安全管理を徹底したい」との声が多く聞かれました。

参加会員の皆さん

小野区防災会始動

阪神淡路大震災では、倒壊した建物や家具などの下敷きになった人々の約70％が、近隣の人たちの手によって救助されました。このことからも、被害を最小限に食い止めるためには地域が一致団結することが必要不可欠であり、普段から協力体制を整えておくことが大切です。

小野区防災会（会長・宇留野一洋）では、3月5日に小野農村公園において防災訓練を実施しました。訓練は、地域住民約100人が参加。マグニチュード7の地震が発生したとの想定で各地区から避難場所への避難、火災発生によりバケツリレー、消火器、軽可搬ポンプによる初期消火訓練や非常炊き出し訓練が実施されました。

今回はAED（自動対外式除細動器）の使用講習及び住宅用火災警報器の設置等についての講習を含めて実施しました。

救急風景

ご注意ください！［ヤマトプロテック社製］
エアゾール式簡易消火具の不具合（破裂事故）について

平成17年6月、7月に埼玉県及び神奈川県において、［ヤマトプロテック社製］のエアゾール式簡易消火具が破裂するという事故が発生しました。該当器具をお持ちの方は、製造事業者のホームページで周知されている廃棄方法に従い速やかに廃棄してください。

●エアゾール式簡易消火具の取扱いの注意

自動車内、ガスコンロの付近など高温になる場所、直射日光の当たる場所や腐食しやすい著しく多湿である場所、または油脂、調味料、洗剤等が付着腐食するおそれのある場所等には設置しないこと。

※不明な点は、消防本部予防課（☎54－0199）まで問い合わせください。

該当製品

製造事業者	ヤマトプロテック㈱
商品名	①ヤマトボーイKT ②FMボーイK
鑑定番号	鑑消第13～4号
製造時期	平成13年11月～平成14年7月 （品質保証期間） 2002年2月～2005年10月
製造本数	184,000本

4月から

介護保険制度が改正されます

■問い合わせ先
本庁介護高齢課　☎(52) 1111

介護予防のためのサービスが始まります

介護保険制度は、市が保険者として運営しています。40歳以上のすべての市民の方が被保険者(加入者)となって保険料を納め、介護が必要と認定されたときには、費用の一部(原則として1割)を支払えばサービスを利用できる、支え合いの制度です。

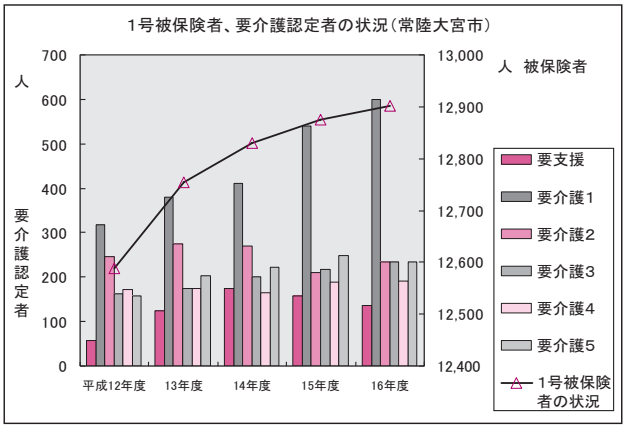
この制度は平成12年に開始されましたが、5年間の運営状況をふまえ、今後の高齢者人口の増加などに対応するための大幅な改正が行われ、4月から実施されます。

できる限り住み慣れた我が家で暮らし続けることができるよう、上手に介護保険を利用してください。

高齢者人口が増加し、要介護認定者が増えています

65歳以上(第1号被保険者)の人口が増加するとともに、要介護(要支援)認定者が第1号被保険者の増加を上回る伸びを示しています。

また、要介護認定率(第1号被保険者に対する割合)は12・6%で県平均を越えており、県内でも高い位置にあります。



要介護認定の区分が変わります

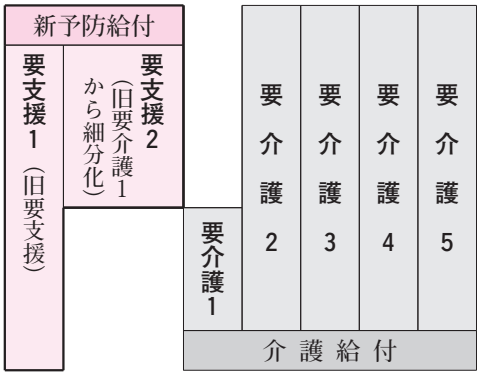
要支援、要介護1～5だった区分が、要支援1・2、要介護1～5になります。

これまでの要介護1に相当する場合は、認知症や疾病、外傷の程度など心身の状態によって、要支援2か要介護1に認定されます。

現在サービスを受けていますが、サービスや要介護度は変わりますか?

○すでに要介護認定を受けてサービスを利用している方は、現在の要介護認定を更新する際に、新しい制度が適用されます。

新しい制度で要支援1・2の認定を受けた方は、介護予防サービスの対象者となります。ケアマネジャーと相談して、サービスを利用してください。



制度改正のポイント

～制度の安定した運営のために～

1 介護予防事業が始まります

できる限り健康で活動的な生活を送ることができるよう、水中運動教室や転倒骨折予防教室などのサービスを導入します。

2 保険料設定が変わります

第1号保険料（65歳以上）を、より低所得者に配慮した設定にします。

3 施設に入所している方への給付を見直しました

在宅で介護を受ける方との費用の公平性を図ります。

○介護保険施設（特別養護老人ホーム等）に入所（ショートステイを含む）している方の居住費用や食費を自己負担に（所得の低い方への軽減措置有）

○通所介護（デイサービス）、通所リハビリを利用する方の食費を自己負担に

サービスは大きく分けて３つ

心身に多少の不安がある方は

介護予防事業

要支援・要介護ではないが心身に不安のある方を対象に、簡単な学習や筋力トレーニングなどの事業を行います。

主な事業

水中運動教室

プールでの水中歩行などを行い、筋力を向上させます。（３カ月コース）

利用料　３カ月で3,000円

ねんりんクラブ（生きがいと健康づくり）

軽い運動やレクリエーション・創作活動を行います。

（５月から翌年２月まで、月３回）

利用料　毎回500円（昼食代）

転倒骨折予防教室

つまずきやふらつき予防の運動を習得します。（年６回連続）

利用料　無料

要支援１・２の方には

介護予防サービス（新予防給付）

「本人ができることはできる限り本人が行う」ことを基本に、自立した生活を継続できるよう、介護が必要な状態にならないためのサービスを実施します。

主なサービス

予防通所介護（介護予防デイサービス）

デイサービスセンターなどに通って、運動することで筋力を向上させたり、アドバイスを受けて栄養状態の改善を図り、生活機能を向上させます。

予防訪問介護（介護予防ホームヘルプ）

自宅での生活の中でヘルパーの助けを借りながら、本人ができることは本人が行います。

予防福祉用具貸与

自立を助けるための用具（手すりやつえなど）を貸し出します。

利用料

利用料のうち、通所介護、訪問介護は月単位の定額制です。

要介護１～５の方には

介護サービス（介護給付）

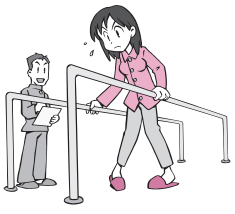
在宅や施設での介護サービスを行います。

主なサービス

訪問介護（ホームヘルプ）
訪問入浴介護
訪問看護
訪問リハビリテーション
居宅療養管理指導
通所介護（デイサービス）
通所リハビリテーション
短期入所生活介護（ショートステイ）
短期入所療養介護
特定施設入居者生活介護（有料老人ホームなど）
福祉用具貸与
福祉用具販売
住宅改修

利用料

利用料は日数・回数・時間単位で支払います。（用具の貸与･販売、住宅改修を除く）



介護から介護予防へ

これまでは介護が必要になってからサービスを受けていましたが、心身状態を維持・改善し、介護が必要な状態にならないようにする「介護予防」のためのサービスを行っていきます。

軽度の要介護状態になる原因

下半身の筋力の衰え
栄養状態の悪化
閉じこもり
初期の認知症・うつ

こういった原因で軽度の要介護状態になった方の多くは、生活の中であまり活動しないために心身が悪化する状態（老年症候群）であり、このままだと生活するための機機能が徐々に低下していきます。

【軽度の方への介護の考え方】

陥りがちな考え方

要介護状態が軽度の方への介護では、「何でもしてあげること」や「過度の安静」が良い介護、という考え方に陥りがちです。しかし、こうした考えではかえって本人の能力が発揮できなくなることがあります。

例

・車いすを不適切に使用したため次第に歩けなくなってしまう。
・家事を代行するサービスを利用し続けることで、家事をする能力が次第に低下し、やがて自分では何もできなくなってしまう。

これからの考え方

軽度の要介護状態の方やそれ以前の軽い段階の方が、心身の状態を維持・改善し、より重度の要介護状態にならないようにするため、それぞれに合った介護予防のためのサービスを導入します。

例

・足元がおぼつかない方がトレーニングに参加し、1人で外出できるようになる。

保険料の設定が変わります

保険料は、18～20年度の3年間に見込まれるサービス費用をもとに算定します。

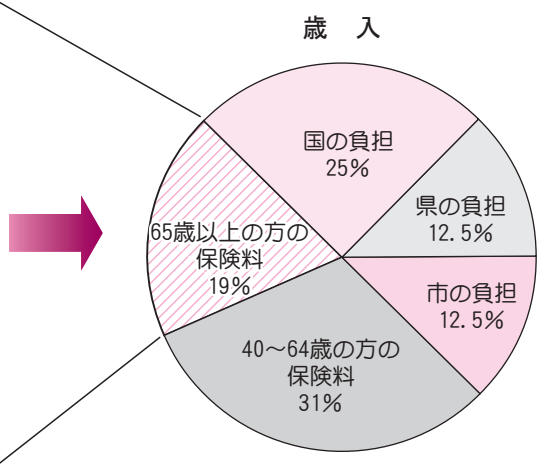
保険料は、次のように3月の市議会定例会で決定されました。

65歳以上の方（第1号被保険者）の保険料を、所得の低い方に配慮して7段階とします。

第3期介護保険料			
保険料（月額）円	保険料率	所得段階区分　7段階（基準額　第4段階）	
900	0.25	第1段階	生活保護の受給者、または世帯全員が市民税非課税で老齢福祉年金の受給者
1,800	0.50	第2段階	世帯全員が市民税非課税で、本人の合計所得金と年金収入の合計が80万円以下
2,700	0.75	第3段階	世帯全員が市民税非課税で、第1段階・第2段階以外
3,600	1.00	第4段階	本人が市民税非課税（世帯の誰かが市民税課税）
4,500	1.25	第5段階	本人が市民税課税で、合計所得金額200万円未満
5,400	1.50	第6段階	本人が市民税課税で、合計所得金額200万円以上500万円未満
6,300	1.75	第7段階	本人が市民税課税で，合計所得金額500万円以上

介護保険は皆さんの保険料で支えられています

歳入のうち、介護保険料は50%で、65歳以上の方の負担は、全体の19%で、40歳から64歳の第2号被保険者の方の負担は31%です。残りは税金で支えられています。



常陸大宮市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画が策定されました

常陸大宮市介護保険事業計画策定委員

	役　職　等	氏　名
1	議　長（委員長）	大貫孝夫
2	保健福祉常任委員長	田中二郎
3	助　役	内田善博
4	医師会	高瀬　瞭
5	歯科医師会	根本秀樹
6	連合民生委員児童委員協議会会長	平塚　勇
7	身体障害者福祉会連合会会長	三村一雄
8	高齢者クラブ連合会会長	野澤定吉
9	ボランティア連絡協議会会長	山崎君江
10	特別養護老人ホーム施設長	茂垣きよ江
11	民間保育所連絡協議会会長	野上　保
12	介護支援専門員協議会会長	大曽根　卓
13	国保運営協議会会長	幡山耕一
14	健康づくり推進協議会会長	東谷満也
15	大宮地区区長会会長（副委員長）	坏　存
16	山方地域審議会委員	木村　勉
17	美和地域審議会委員	小室美智子
18	緒川地域審議会委員	佐藤　茂
19	御前山地域審議会委員	石崎育子

第３期常陸大宮市介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画(案)が３月１日に委員会から市長に報告されました。

本計画は、「支え合う安心のまちづくり」を目指し、高齢者が要支援・要介護状態となることをできるだけ防止するとともに、要支援・要介護状態になってもできるだけ状態の悪化を防ぐ介護予防対策を強化し、一貫性・連続性のある総合的な予防重視型の介護保険制度への転換を図るため策定されました。

マル福制度が拡大されました

常陸大宮市では、乳幼児・母子家庭・父子家庭・重度心身障害者・妊産婦の方々に医療費の補助を行っていますが、今年度から少子化対策の一環として小学生の入院費に限り、次のとおり支給が拡大されました。

◇新たに常陸大宮市独自に支給年齢を拡大しました。

平成17年度	平成18年度から
小学生は外来・入院とも対象外	小学生についても、「入院のみ」マル福対象（一部自己負担あり） ※平成18年４月診療分から該当

○対象　入院に限り、小学校入学から卒業まで

○所得制限　あり（別表のとおり）

○自己負担　入院自己負担　１日　３００円（上限：月3、０００円）
入院時食事代　１日　７８０円

○申請方法　病院発行の領収書・健康保険証・振込み希望の口座情報（郵便局は除く）・印鑑を持参して本庁医療保険課または各総合支所福祉健康課へ申請してください。

※右記以外のマル福対象者は、平成17年11月改定のとおりです。

別表

合計扶養親族数		うち老人扶養親族または特定扶養親族		
		１　人	２　人	３　人
０人	393万円			
１人	423万円	429万円		
２人	453万円	459万円	465万円	
３人	483万円	489万円	495万円	501万円
４人	513万円	519万円	525万円	531万円
５人	543万円	549万円	555万円	561万円

※父母のどちらかの所得が制限額を超えている場合は該当になりません

お問い合わせ

市役所本庁医療保険課（☎52―1111）
山方総合支所福祉健康課（☎57―2121）
美和総合支所福祉健康課（☎58―2111）
緒川総合支所福祉健康課（☎56―2121）
御前山総合支所福祉健康課（☎55―2113）

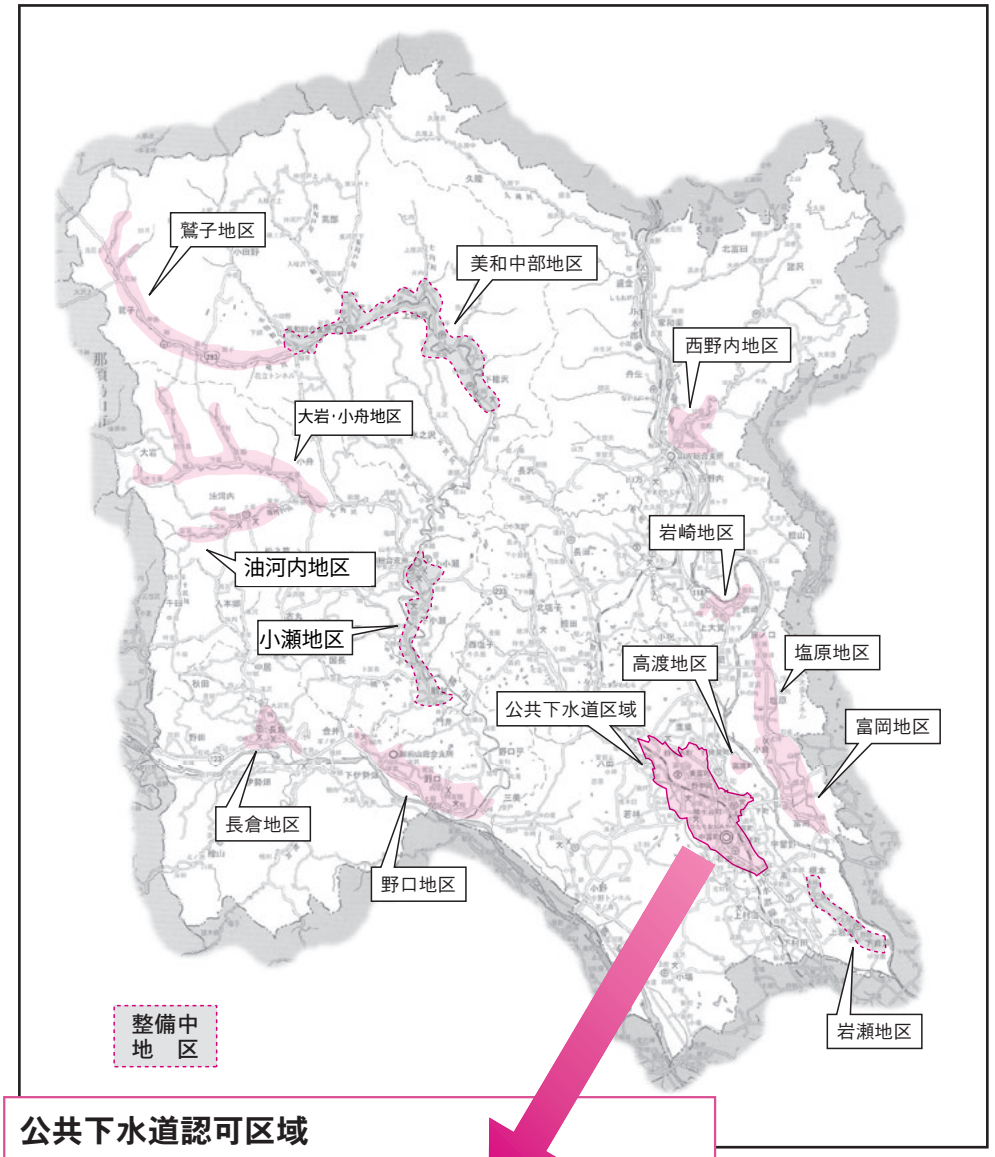
快適な居住環境の整備をめざします

～公共下水道事業認可区域を拡大～

市では、公共水域の水質保全、快適な居住環境を整備するため、公共下水道事業、農業集落排水事業、浄化槽整備事業により、生活排水対策を推進しています。

これまで、公共下水道の事業認可面積は237haでしたが、新たに103haの事業認可を取得し、平成23年度の完成を目指して、計画的に整備を進めてまいります。

常陸大宮市の生活排水対策マップ



公共下水道認可区域

市の公共下水道事業

市の中心部（公共下水道認可区域：右下図参照）の汚水処理については、9市町村で構成する「那珂久慈流域下水道」に加入し、広域的に汚水処理を行う公共下水道事業を実施しています。

この事業は、整備区域内にある家庭や事業所から排出される汚水を網の目状に埋設した下水道管で下村田にある中継ポンプ場に集め、ひたちなか港近くの那珂久慈浄化センターへ送水して、汚水処理を行うというものです。そのため、市内には汚水を処理する施設がありません。

事業経過と整備状況

公共下水道事業は、平成元年度から整備を進めてきており、計画の見直しを行いながら認可区域を拡大してきました。

JR水郡線の東側については、平成4年度から南から北方向に面整備を進め、平成17年度に整備が完了しました。

なお、公共下水道事業による全体計画での区域面積は846haで、平成16年度末の整備面積は207ha（24・5％）、管路延長39㎞を整備し、3,722人の方々が公共下水道を利用されています。

認可区域取得状況（単位ha）

年月（平成）	認可面積	計
2年2月	108	108
10年3月	69	177
14年3月	60	237
18年3月	103	340

新たな認可区域の整備

新たに取得した103ha（右下図：斜線部分）の認可区域（抽ヶ台町、上町、中富町、南町、栄町の各一部）については、年次計画に基づき、5ヵ年で整備を進める計画です。

平成18年度から、JR水郡線と国道118号バイパス間の管路工事を行い、その後バイパスから西側を整備して行く計画です。

地域の皆様をはじめ、多くの方々に工事等によりご不便をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

下水道課事務所移転のご案内

組織・機構改革に伴い、4月1日より下水道課が、水道事務所に移転しました。また、各総合支所に下水道係が配置されていましたが、水道係と統合し上下水道係となりました。

なお、下水道課の住所、電話番号等は次のとおりです。

上下水道部下水道課
〒319－2145
常陸大宮市宇留野3030
☎53－7250　FAX52－0256

私たちは、台所、洗濯、風呂、トイレなどに一人約250リットル／日の水を使用し、生活排水として流しています。また、川や湖を汚している原因として、家庭からの生活排水がかなりの割合を占めているともいわれています。

常陸大宮市の生活排水対策

浄化槽整備事業

この事業には、山方地域、美和地域、緒川地域で実施している戸別浄化槽整備事業と、浄化槽を設置した際に補助金を交付する浄化槽補助金事業があります。

戸別浄化槽整備事業は、受益者の方から分担金を納入していただいて、市が浄化槽工事を行い、使用開始後、使用料を納めていただいて、市が浄化槽の維持管理を行います。

浄化槽補助金事業は、公共下水道の認可区域でないこと、農業集落排水事業の対象区域でないことなどの要件がありますので、申請の際には下水道課施設管理係まで、お問い合わせ下さい。

農業集落排水事業

農業集落排水施設は、農業振興地域内の汚水を集め、一括処理する施設です。市内には10箇所の処理施設があり、生活排水を処理して、排水路等に処理水を排水しています。

工事状況　平成18年度は、昨年度に引き続き岩瀬地区（大宮地域）、美和中部地区（美和地域）、小瀬地区（緒川地域）で管路工事を行います。

公共下水道事業

市の公共下水道事業は、那珂久慈流域下水道に属し、日常生活で排出される生活排水はひたちなか市の那珂久慈浄化センターで処理され、処理水は太平洋へ放流しています。

工事状況　平成18年度は栄町、南町、中富町、石沢で工事を実施します。

公共下水道や農業集落排水施設、浄化槽が整備されても公共ます等への接続をしないと、生活排水は処理されません。

供用開始となっている地区は、指定工事店に工事を依頼し、速やかに宅内排水設備工事をお願いいたします。

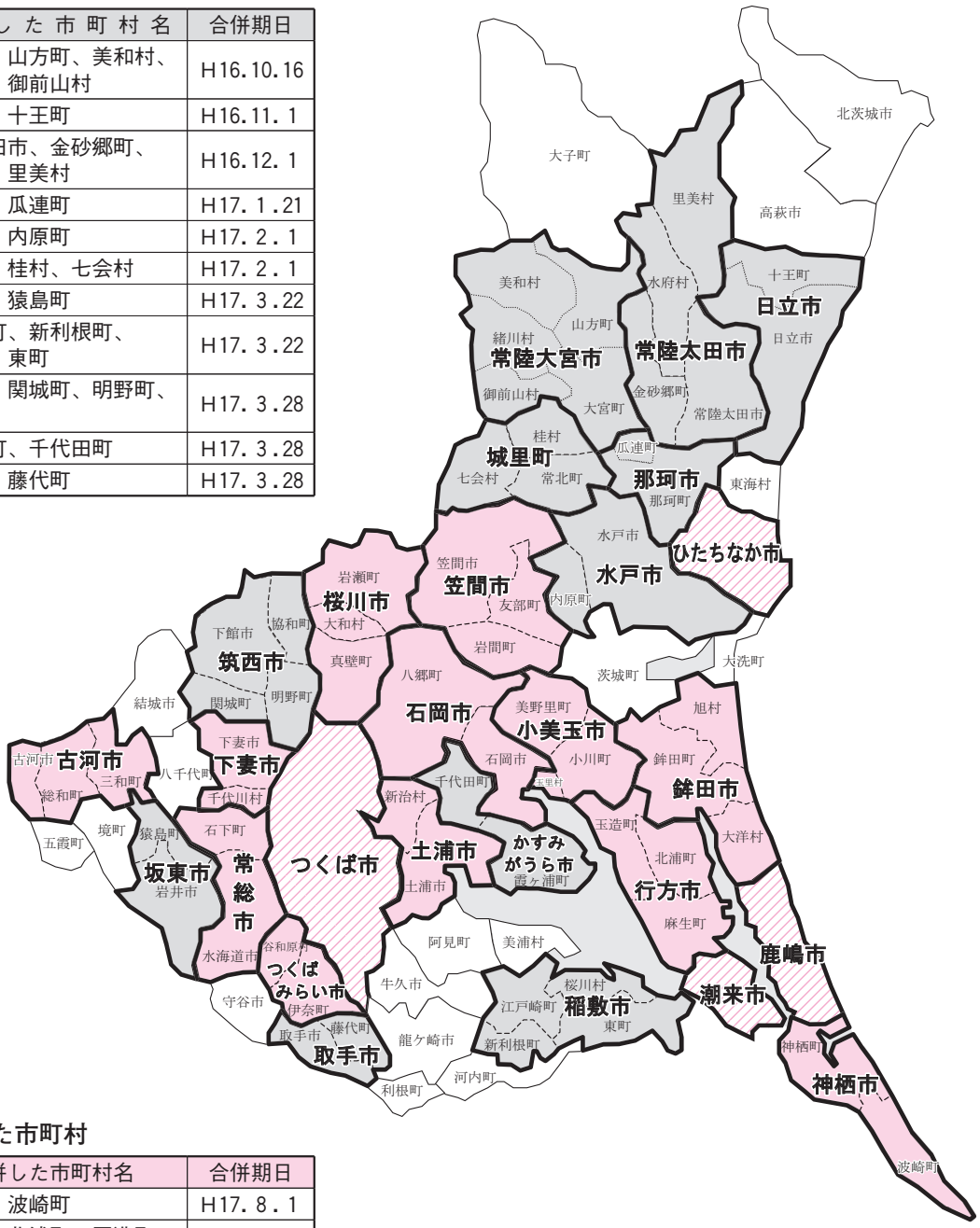
83から44市町村へ

新しい いばらきの市町村

茨城県においては、市町村の合併が進み平成16年４月に83あった市町村数は、平成18年４月には44（32市、10町、２村）になりました。

◆平成16年度に合併した市町村

新市町名	合併した市町村名	合併期日
常陸大宮市	大宮町、山方町、美和村、緒川村、御前山村	H16.10.16
日立市	日立市、十王町	H16.11.1
常陸太田市	常陸太田市、金砂郷町、水府村、里美村	H16.12.1
那珂市	那珂町、瓜連町	H17.1.21
水戸市	水戸市、内原町	H17.2.1
城里町	常北町、桂村、七会村	H17.2.1
板東市	岩井市、猿島町	H17.3.22
稲敷市	江戸崎町、新利根町、桜川村、東町	H17.3.22
筑西市	下館市、関城町、明野町、協和町	H17.3.28
かすみがうら市	霞ヶ浦町、千代田町	H17.3.28
取手市	取手市、藤代町	H17.3.28



◆平成17年度に合併した市町村

新市名	合併した市町村名	合併期日
神栖市	神栖町、波崎町	H17.8.1
行方市	麻生町、北浦町、玉造町	H17.9.2
古河市	古河市、総和町、三和町	H17.9.12
桜川市	岩瀬町、真壁町、大和村	H17.10.1
石岡市	石岡市、八郷町	H17.10.1
鉾田市	旭村、鉾田町、大洋村	H17.10.11
常総市	水海道市、石下町	H18.1.1
下妻市	下妻市、千代川村	H18.1.1
土浦市	土浦市、新治村	H18.2.20
笠間市	笠間市、友部町、岩間町	H18.3.19
つくばみらい市	伊奈町、谷和原村	H18.3.27
小美玉市	小川町、美野里町、玉里村	H18.3.27

◆平成に合併した市町村

新市名	合併した市町村名	合併期日
水戸市	水戸市、常澄村	H4.3.3
ひたちなか市	勝田市、那珂湊市	H6.11.1
鹿嶋市	鹿島町、大野村	H7.9.1
潮来市	潮来町、牛堀町	H13.4.1
つくば市	つくば市、茎崎町	H14.11.1

平成16年度に合併した市町村　平成17年度に合併した市町村　平成に合併した市町村

地域審議会開催

山方地域、美和地域、緒川地域、御前山地域において、地域審議会が開催されました。

審議会では、事務事業の調整状況及び18年度における地域別の建設事業等の主要事業に関する報告や常陸大宮市総合計画について協議されたのち、事務事業の内容に関する質問や要望など、活発な意見交換がなされました。

第１回地域審議会

［第1回地域審議会の開催状況］

2月21日	美和地域	美和総合支所
2月22日	御前山地域	御前山総合支所
2月23日	緒川地域	緒川総合支所
2月24日	山方地域	山方公民館

［第2回地域審議会の開催状況］

3月15日	緒川地域	緒川総合支所
3月15日	御前山地域	御前山総合支所
3月16日	山方地域	山方公民館
3月16日	美和地域	美和総合支所

○報告事項

○事務事業の調整について

調整方針に基づき各部局において、17年度に事業内容が統一された事業や18年度から統一が予定されている20項目について報告しました。

○地域別の建設事業等について

18年度の予算編成が進められている中、山方、美和、緒川、御前山の各地域に関係する建設事業などの主要事業について報告しました。

○協議事項

○常陸大宮市総合計画について（諮問）

市の新たな総合計画を策定するため、市長より各地域審議会へ諮問がされました。今後は、数回の審議を重ねたのち、市長へ答申される見込みです。

第２回地域審議会

市㊟ってニュース

新たな思い出の舞台
山方中学校体育館完成

平成17年7月から建設が進められていた山方中学校体育館が完成し、3月27日、来賓の方々をはじめ、山方中学校の教員や生徒など約３００人が見守るなか、竣工式典が行われました。

新しい体育館は、豊富に木材を利用した温もりのある室内で、バレーボールやバスケットボールの公式競技用として利用できる広さを確保し、バリアフリー対策はもとより、環境教育へのねらいから太陽光発電設備を設置しています。

また、地域開放体育館として多くの市民の皆さんに利用していただけるよう、ミーティングルームや更衣室、シャワー室を備えています。地域コミュニティーの拠点として、ぜひご活用ください。

農協から通学帽の寄附

ＪＡ茨城みどりから、18年度に入学する市内の小学生の安全な登下校を願って、黄色い通学帽が寄附され、3月6日、市野澤理事長から坂本教育長に贈呈されました。

今年度の新1年生は３９９人。この通学帽をかぶって元気に通学し、楽しく学んで欲しいと思います。

漉き絵づくりに挑戦！

3月11日、御前山地域のいいこといっぱい体験隊に登録した小学生30人が、山方地域の「紙のさと」を訪問し、漉き絵を体験しました。

和紙の歴史やその作り方について説明を受けたあと、楮（こうぞ）の溶液を使っての紙漉きを体験。漉いた紙の上に楮の繊維を溶かした染色溶液を載せて漉き絵を完成させました。

参加者は、初めて体験する漉き絵体験に戸惑いながらも、個性あふれる作品を完成させ、楽しい1日を過ごしました。

里芋の花　見たことありますか？

木村定子さん（鷹巣）の畑で里芋の花が咲いたとの情報をいただきました。

木村さんはこれまで10年以上里芋を育ててきたそうですが、花をつけたのは初めてとのことで、周りでも聞いたことがなく、近所の方も驚いていたそうです。

中央細長い部分が花

広報協力員レポート

大場小学校で講演会

中山さち子さん

3月5日、大場小PTA主催により、児童文学作家の宮川ひろ先生を招いて講演会を開催しました。

「出会いに育てられて」とのテーマで、戦争体験や教師時代の苦労話などを織り交ぜながら、自らの人生を板の間と前かけに例えて、板の間が原稿用紙で、書くことで自分を育てているようであり、前かけは紐を締める時に、手つばきをして「よしやるぞ」と気合いを入れることで心も引き締まると話されました。

穏やかな口調の語りで、学校、保護者、地域など、約50人の参加者は、温かな雰囲気に包まれながら聞き入っていました。

このような集いへの参加が、子どもたちの健全育成に意義深いものと感じました。

スポーツ

☆順不同・敬称略①優勝②準優勝③第３位

第2回常陸大宮CUP（新体操）

（3/18・19西部総合公園体育館）

第2回を迎えた新体操の常陸大宮CUPが、2日間にわたり開催され、県内はもとより南関東及び東北地方から幼児・小・中学生・高校生など270人の参加があり、すばらしい演技が披露されました。

市内からも常陸大宮女子新体操クラブの生徒が競技に参加したほか、演技の発表を行い大きな声援をうけました。

また、矢数浩市長より団体及び個人の優勝者に市長賞としてトロフィーと賞状が贈呈されました。

御前山地域 バドミントン大会

（3/5 御前山トレーニングセンター）

この大会は、誰でも・いつでも・どこでもできるスポーツの普及と青少年の健全育成をめざし開催しているものです。

大会には70人が参加し、各部門とも熱戦あり笑いあり、心地良い汗をかいて楽しい大会となりました。特に親子の部では、大会を通して親子の絆が深まったようです。

小学生シングルスの部

①皆川優希②三村将③石崎里奈③皆川優穂

中学生シングルスの部

①石崎達也②石崎剣③皆川大地③清水ひとみ

中学生ダブルスの部

①石崎剣・石崎達也組

②石崎里沙・小林真由美組

③皆川大地・疋田駿組

③廣木彩佳・清水ひとみ組

親子の部

①植山旬・英男組

②皆川優希・大輔組

③皆川由紀・善明組③西野雄泰・夏子組

▲親子の部

第33回那珂地区剣道錬成大会

（2／19　西部総合公園体育館）

小学生の部
①世喜剣道クラブA
②大宮正念剣道クラブA
③世喜剣道クラブB
③上野剣道クラブA

中学生男子の部
①山方中
②大宮中A
③第二中A
③大宮中B

中学生女子の部
①山方中
②那珂一中A
③緒川中
③大宮中

高校生・一般の部
①山方剣道連盟B
②大宮尚武館B
③山方剣道連盟A
③大宮尚武館A

総合の部
①常陸大宮市
②那珂市

◀中学生の部（男・女）高校生・一般の部で優勝した皆さん

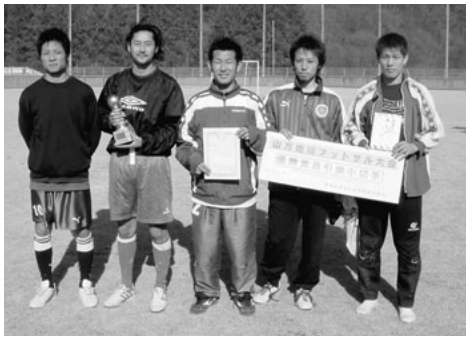
▶小学生の部で優勝した世喜剣道クラブAの皆さん

山方地域フットサル大会

（3/19　山方運動公園野球場）

11チームが参加し、予選リーグ、決勝トーナメントを行い「ogawaraCFC」が優勝しました。寒空の下、どのチームもすばらしい熱戦を繰り広げ、大会全体が盛り上がりました。

優　勝　ogawaraCFC
準優勝　うすしおFC
第3位　ユニティー FC
　　アンフェア



第18回緒川近郊中学校交流バレーボール大会

（3／21　緒川中学校体育館）

市教育委員会及び緒川事務所の主催により、市近郊の中学校10チームが参加し行われました。

大会の結果、本市から参加した御前山中学校が3位に入賞しました。

①桂中学校（城里町）
②那珂第四中学校（那珂市）
③御前山中学校（常陸大宮市）
③瓜連中学校（那珂市）

▲3位となった御前山中学校チーム

第2回市民ターゲットバードゴルフ大会

（3/5　緒川やすらぎの里公園TBG場）

市ターゲットバードゴルフ連盟（三村隆男会長）主催により開催されました。

当日は、3部門に37人の参加があり熱戦が展開されました。

＜一般・シニア男子＞　（グロス　HDCP　ネット）

優　勝	長山　　徹	86	18	68
準優勝	瀬谷　利男	73	1.2	71.8
第3位	堀江　久雄	97	25	72

＜ゴールドシニア男子＞

優　勝	石川　一郎	107	34.8	72.2
準優勝	三村　隆男	88	12	76
第3位	岡崎　　実	110	31	79

＜女子＞

優　勝	内田　マサ	121	42	79
準優勝	森戸　陽子	100	21	79
第3位	古沢スガ子	87	6	81

平成18年度　市役所の執行体制

- 市長　矢数　浩
  - 助役　三次真一郎　内田　善博
    - 収入役　前田　尚利
      - 会計課　課長　黒澤　豊
        - 会計課　山方分室
        - 会計課　美和分室
        - 会計課　緒川分室
        - 会計課　御前山分室
        - 収入係　支出係
    - 御前山総合支所　支所長　會澤　勲
      - 建設　課長　鹿島　幹雄
        - 土木建築係　上下水道係
      - 経済　課長　三次　重雄
        - 農林商工係
      - 福祉健康　課長　神長　久栄
        - 福祉係　健康推進係
      - 市民　課長　石﨑　勝一
        - 庶務係　出納税務係　住民係
    - 緒川総合支所　支所長　高村　和一
      - 建設　課長　鈴木　光雄
        - 土木建築係　上下水道係
      - 経済　課長　桐原　洋一
        - 農林商工係
      - 福祉健康　課長　河野　種美
        - 福祉係　健康推進係（緒川保健センター内）
      - 市民　課長　和知　稔
        - 庶務係　出納税務係　住民係
    - 美和総合支所　支所長　矢板　一義
      - 建設　課長　小室　隆夫
        - 土木建築係　上下水道係
      - 経済　課長　木村　博
        - 農林商工係
      - 福祉健康　課長　長岡　宏守
        - 福祉係　健康推進係
      - 市民　課長　瀧　俊満
        - 庶務係　出納税務係　住民係
    - 山方総合支所　支所長　永井　福二
      - 建設　課長　長山　勝善
        - 土木建築係　上下水道係
      - 経済　課長　鹿島　章
        - 農林商工係
      - 福祉健康　課長　柏　一夫
        - 福祉係　健康推進係
      - 市民　課長　大津　國夫
        - 庶務係　出納税務係　住民係
    - 上下水道部　部長　諸澤好一郎
      - 下水道　課長　寺門　信義
        - 庶務係　公共下水道係　集落排水係　施設管理係
      - 水道　課長　菊池　久美
        - 庶務第一係　業務第一係　施設係（上水道）
        - 庶務第二係　業務第二係（簡易水道）
    - 建設部　部長　高林　匠
      - 建設　課長　長山　高美
        - 管理係　道路河川係
      - 都市整備　課長　佐藤　則夫
        - 都市計画係　建築係
    - 経済部　部長　宇留野治男
      - 商工観光　課長　山﨑　憲昭
        - 商工振興係　観光振興係
        - 企業誘致推進室　企業誘致推進係
      - 農林　課長　宇留野孝雄
        - 農林振興係　農林整備係　畜産係
        - 市営牧場
    - 保健福祉部　部長　佐藤　隆男
      - 次長　松本　豊（兼福祉事務所長）
      - 健康推進　課長　助川　保男（総合保健福祉センター内）
        - 健康推進係　保健予防係
      - 医療保険　課長　横山　治（兼病院建設室長）
        - 医療係　保険係
        - 中核病院建設室　病院建設係
        - 国保美和診療所　国保緒川歯科診療所
      - 福祉事務所
        - 介護高齢　課長　石川　昌和
          - 高齢者福祉係　介護保険係
          - ねんりんピック開催推進室　ねんりんピック開催推進係
        - 福祉　課長　堀江　久雄
          - 社会福祉係　保護係
          - 子育て支援室　子ども福祉係
          - 大賀保育所　山方保育所　美和保育所
    - 市民部　部長　井野上　猛
      - 環境　課長　豊田　忠久
        - 環境政策係　リサイクル推進係
        - おおみや広域聖苑
      - 税務　課長　岡崎　恒之
        - 市民税係　資産税係　徴収係
      - 市民　課長　堀江　克己
        - 市民生活係　住民記録係
    - 総務部　部長　金田　薫
      - 次長　藤田　茂（兼企画課長）
      - 情報政策　課長　田沢　廣美
        - 情報政策係　広報統計係
      - 財政　課長　木村　則義
        - 財政係　契約検査係　管財係
      - 企画　課長　藤田　茂
        - 企画調整係　男女共同参画係　合併管理係　都市交流係
      - 総務　課長　飯島　弘道
        - 庶務係　職員係　文書法制係
        - 秘書広聴室　秘書広聴係
    - 議会
      - 議会事務局　局長　小林　俊雄
        - 庶務係　議事係
      - 次　長　海老根一雄

新たに設置された部署及び係

行政委員会

- 選挙管理委員会 ― 事務局併任
- 国定資産評価審査委員会 ― 事務局併任
- 公平委員会 ― 事務局併任

農業委員会

農業委員会事務局
局長　宇留野治男

次長　浅川　明

- 農地農政係
- 山方総合支所窓口
- 美和総合支所窓口
- 緒川総合支所窓口
- 御前山総合支所窓口

総合支所
経済課兼務

監査委員

監査委員事務局
局長　飯島　弘道

- 監査係

教育委員会
教育長　坂本　忠夫

教育委員会事務局
教育次長　菊池　正男

- 学校教育課　課長　柏　保一
  - 総務係
  - 施設係
  - 学務係
  - 指導室
  - 給食センター
  - 幼稚園・小学校・中学校
- 生涯学習課　課長　大武　哲雄
  - 社会教育係
  - スポーツ振興係
  - 体育施設管理係
  - 大宮公民館
  - 文化センター
  - 図書情報館
  - 歴史民俗資料館
- 山方事務所　所長　大賀　孝三
  - 生涯学習係
  - 公民館
- 美和事務所　所長　内田　義則
  - 生涯学習係
  - 公民館
- 緒川事務所　所長　鈴木　敏永
  - 生涯学習係
  - 公民館
- 御前山事務所　所長　会沢　薫
  - 生涯学習係
  - 公民館

消防長
鈴木　實

消防本部

- 総務課　課長　金子　一行
  - 庶務係
  - 経理係
  - 地域消防係
- 警防課　課長　堀江　四郎
  - 警防係
  - 救急救助係
  - 通信指令室
- 予防課　課長　砂川　一男
  - 予防係
  - 指導係
  - 危険物係
- 東消防署　署長　宇留野　正
  - 庶務係
  - 警防係
  - 予防係
  - 救急係
  - 通信係
- 西消防署　署長　相沢　武夫
  - 庶務係
  - 警防係
  - 予防係
  - 救急係

塩田小学校

（北塩子1721　☎53－1932）

校訓

かしこく
なかよく
たくましく

○塩田小はこんなところ

市のほぼ中央にあり、周囲は5つのゴルフ場に囲まれて山林が多い環境です。

この地域の特色は、現存するもので日本最古と言われる組み立て式回り舞台で、県の有形民俗文化財に指定されています。

西塩子地区を中心に半世紀ぶりに組み立てられ、平成16年度にはNHK制作の『全国ふるさと歌舞伎フェスティバル』に出演し、「ふるさとイベント大賞」を受賞しました。

自然の中で豊かな表現力を向上させよう

現在塩田小では、小規模校のために交友関係が限られてしまい、なかなかコミュニケーション能力が育っていかないという課題があります。そのため平成17、18年度の市教育研究会の指定もあり、国語科の授業を中心に校内研究を進めています。

○主な取り組み

伝統芸能「歌舞伎」を生かした表現活動

西塩子の回り舞台での子ども歌舞伎という伝統文化を、総合的な学習の時間を通して継承する活動を進めています。現在、ゲストティーチャーの指導のもと豊かな表現力を育てようと熱心に取り組んでおり、歌舞伎独自の発声法や表現豊かな言い回しの体験は、子ども一人ひとりに、ことばの豊かさを味わせ、自ら豊かに表現する力を養うための良い教材となっています。

また、歌舞伎の学習を通じて感受性を働かせ、情感を込め、自信を持って表現する力を育てる指導法の研究も進めています。

子ども歌舞伎

①生活日記・生活詩の創作活動

行事やイベント中心のものでなく、児童の日常生活の中での一場面、特定のワンショットをくり抜いて日記や詩にする活動を展開しています。

児童全員分の詩は毎月掲示板に展示し、優秀作品は全校朝会で表彰・発表したり、お昼の放送で紹介しています。各種コンクールへの応募も積極的に行い、児童に対して詩作への意欲と自信の高揚を図っており、新聞等に掲載された児童の作品は学校だよりなどで地域住民に発信しています。

詩の授業

②読書環境の整備と読書活動の工夫

朝の読書の時間（週1回、15分間）を確保し、毎月1回程度（月末）読書集会を全校で開いて読書に対する意欲付けを行っています。ブックトークを中心に本の紹介活動をしたり、たくさん本を読んでいる友だちの紹介をしています。

また、学期に2度ほど※読書へのアニマシオンを実施し、低・高学年に分かれて読書の楽しさ、おもしろさをそれぞれの児童が共有できるようにしています。

※スペインのモンセラ・サルト氏の考案した読書教育法

今後は、読み聞かせボランティアと協力して地域ぐるみによる活動や、朗読劇や群読、ジョイントコンサート（本・朗読・音楽のコラボレーション）を計画し、読書を通じて読解力、表現力の向上をめざそうと研究を進めています。

読書アニマシオン

第12回 ふるさと見て歩き

陰陽山（いんようさん）

◀昭和7年の祭礼において野上の鹿島貞氏が着用した殿様装束（歴史民俗資料館山方館蔵）

山方地域には江戸時代から庶民の信仰を集める陰陽山があり、現在は森林公園として親しまれています。また山頂に祀られている陰陽神社は縁結びの神様として知られています。

◇陰陽神社と祭礼

幕末にまとめられた記録によれば、寛文元（一六六一）年、光圀が領内の巡視の際、一里（約四㎞）南の上大賀村（市内上大賀）から山頂の二つの巨岩「夫婦岩」を望み、その眺めに感動して神社の創建を思い立ったと言われています。

しかし、この山はもともと小口家の持ち山で氏神を祀っていたため、小口氏には代替地として山林が与えられました。その三十年後の元禄三年に再び光圀はこの地を訪れ、その際「夫婦岩」を「陰陽石」と改め、また神社の縁起を作り「陰陽神社」として再興したのではないかと考えられています。

昭和初期までは二年おきに祭礼が行われ、「浜降（はまおり）り」といって、神輿に乗せた御神体を神奉地河原（市内山方）に渡御させていました。氏子となっている地区ではそれぞれ、風流物と呼ばれる山車を出す地区、踊り屋台を出す地区、花火を打ち上げる地区など受け持ちがありました。火消し行列とそれを率いる殿様は野上地区と和田・大久保地区が交代で出すことに決まっていました。昭和初期に使用された殿様装束は現在でも二着残されており、歴史民俗資料館山方館で展示しています。

しかし、残念ながらその祭礼は昭和十二年を最後に途絶えてしまっています。

◇陰陽山を歩いてみよう

実際に陰陽山森林公園から山頂まで歩いてみましょう。参道の石段を登り一つ目の鳥居をくぐると、その奥からは杉の木などが生い茂る御神域の森が広がります。

陰陽神社本殿へ続く石段の手前にも鳥居があります。この簡素な石造りの鳥居に掛かる「陰陽山」という小ぶりの扁額は、光圀の字を彫ったものといわれています。独特な字体が刻まれていますので目をこらしてみてください。

この石段を登ると「幣殿（へいでん）」に辿りつきます。この石鳥居と幣殿は、昭和二年に山方村初老会が再建したものであることが石碑からわかります。幣殿を過ぎるともうすぐ山頂です。山頂の標高は二一六メートルで、ふもとから十分ほどでたどり着きます。

光圀がはるか遠くから望んだという陽石・陰石はおよそ十メートルの高さを誇ります。そしてこの巨岩のふもとに陰陽神社の本殿があります。現在は彩色も落ちてしまいましたが、社殿の彫り物は緻密な手の込んだものです。山頂からの眺めはすばらしく、光圀の見出す以前から人々の信仰を集めていたと思われる威容を誇っています。

（歴史民俗資料館）

▲光圀筆の扁額のかかる石鳥居

▲陰陽神社本殿。狛犬は高麗系の珍しい形をしています

けんこう通信

かがやき　☎54－7121

花粉症の季節です

現在、日本人の約20％が花粉症といわれ、また最近では次第に低年齢化しており、年々患者が増加しているのが現状です。

もはや国民病といわれている花粉症ですが、積極的に自分でできることに取り組んで症状を緩和し、つらいシーズンを乗り切りましょう。

■花粉症の症状

典型的な症状として目のかゆみ、涙が止まらない、くしゃみ、鼻水、鼻が詰まるなど、多くの症状は目や鼻に現れます。その他、外気にさらされている顔や首、目のまわりや耳の中がかゆくなったり、肌が荒れたりすることもあります。

■花粉症を引き起こす植物

日本人の８割はスギ花粉が原因といわれていますが、他には４月から５月にはヒノキがあり、６月から８月にはカモガヤなどのイネ科の植物、８月から10月はブタクサなどのキク科の植物と、一年中花粉が飛んでいます。

■花粉症をコントロールする方法

○花粉情報をチェック
テレビやインターネット等で気象情報・花粉情報を入手しましょう。

○晴れた日などは外出を控えめに
晴れた日など花粉の飛散の多い時や、１日のうち飛散の多い時間帯（午後１時から３時頃）の外出はなるべく控えましょう。

○ドア・窓を閉める
飛散の多い時は、窓や戸を閉めておきましょう。

○洗濯物・布団にも注意
外に干した洗濯物や布団は花粉をよく落としましょう。

○掃除はこまめに
室内にも花粉は侵入しています。ソファやカーテンも忘れずに。

○外出時は完全防備で
帽子・マスク・眼鏡を身につけて、コートなどもツルツルした素材を選びましょう。

○ストレスを避け、十分な睡眠をとる
過労や精神的ストレスは、花粉症の症状を悪化させることになります。

○酒やタバコ、刺激の強い香辛料は控えて
花粉症の症状を悪化させることになります。

○玄関前で花粉をシャットアウト
衣服や髪に付いた花粉を取り払ってから家に入りましょう。

○外出後は、うがい・手洗い・洗顔をする
体に付いた花粉をきちんと洗い流しましょう。

としょじょうほうかん

☎ 53-7300

お知らせ

こども読書週間
4月23日(日)～5月12日(金)
2006年標語「魔法の国へのパスポート」

☆楽しいこいのぼり作り　4月23日(日)
☆おかあさん似顔絵展　5月10日(水)まで
☆お勧めの児童書の紹介・展示
☆子ども映画会　5月7日(日)

雑誌が増えます！

4月から新たに25誌の雑誌が増えます。今までと同様に新刊は貸出できませんが、バックナンバーは貸出ができます。どうぞ、ご利用ください。

行事予定

☆美和かわせみの会のおはなし会　5月5日(金)
☆ロゼのつどいのおはなし会　5月13日(土)
☆めばえの会のおはなし会　5月18日(木)
☆どんどんちっちのおはなし会　5月20日(土)
☆はみんぐばあどのおはなし会　5月27日(土)

＊おはなし会は、午前10時30分から1階児童コーナーで行います。

☆子ども放送局
毎週土曜日　午前10時30分から12時　2階視聴覚室

図書情報館開館カレンダー

5月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■＝休館日
〈開館時間〉　午前9時30分～午後6時
＊毎週木曜日は午後7時まで開館します。

新しく入った本

〈一般書〉
・「ロープウェイで山歩き」　山と渓谷社
・「中国人の99.99%は日本人が嫌い」　若宮　清
・「超バカの壁」　養老孟司
・「子育てハッピーアドバイス」　明橋大二
・「私一人」　大竹しのぶ
・「『選ばれる女性』には理由（わけ）がある」　秋元　康
・「ザーヒル」　パウロ・コエーリョ
・「お腹召しませ」　浅田次郎
・「ペダルの向こうへ」　池永　陽
・「ガール」　奥田英朗
・「チーム・バチスタの栄光」　海堂尊
・「キタイ」　吉来駿作
・「新参教師」　熊谷達也
・「陰日向に咲く」　劇団ひとり
・「ウーマンズ・アイランド」　林真理子
・「美しき野獣」　キム　ソンス
・「レンタル・チルドレン」　山田悠介
・「翼の折れた天使たち」海・空　Yoshi

〈児童書〉
・「劇場版甲虫王者ムシキング」　小学館
・「ドラゴンは王子さま」　茂市久美子
・「さとうねずみのケーキ」　ジーン・ジオン

＊その他の新刊は、図書情報館カウンターで「新しく入った本」（冊子）または、常陸大宮市のホームページをご覧ください。

今月の本棚

・「ガール」　奥田英朗（おくだひでお）
　きっとみんな焦ってるし、人生の半分はブルーだよ。既婚でも、独身でも、子どもがいてもいなくても…。さ、いっちょ真面目に働きますか！キュートで強い、肝の据わったキャリアガールたちのお話を5つ、ご覧あれ。

・「レンタル・チルドレン」　山田悠介（やまだゆうすけ）
　愛する息子・優を病気で亡くした泰史と冬美は、P.I.という会社を訪れた。そこで行われているのは、子供のレンタルと売買。2人はリストの中に優そっくりの子供を見つけレンタルし翌日には購入を決めた。そして1ヶ月後…。

御前山地域　5月の移動図書のおしらせ

11・25

○午前9時～9時30分　旧農協伊勢畑支所脇
○午前9時40分～10時10分　野口地区センター前
○午前10時20分～10時50分　星の宮住宅前
○午前11時～11時30分　上町住宅前

※詳しくは、教育委員会御前山事務所（☎55－2116）まで。

INFORMATION

暮らしの情報

常陸大宮市役所　☎(52)1111
山方総合支所　☎(57)2121
美和総合支所　☎(58)2111
緒川総合支所　☎(56)2111
御前山総合支所　☎(55)2111

休日・祝日の当番医　4/16～5/28

日付	病院名（所在地）	電話番号
16	岡崎外科医院（上町） 阿久津クリニック(栃･那須烏山市) 大兼医院（栃・茂木町）	(52)0547 0287(83)2021 0285(63)0036
23	丹治医院（東富町） 金井医院（栃･那須烏山市） 桜井内科（栃・茂木町）	(53)2115 0287(83)1166 0285(63)5131
29	大曽根内科小児科（栄町） 烏山台病院（栃･那須烏山市） 茂木中央病院（栃・茂木町）	(52)0302 0287(82)2739 0285(63)1151
30	高瀬医院（宇留野） 熊田診療所（栃・那須烏山市） もてぎの森「メディカルプラザ」（栃･茂木町）	(53)2282 0287(88)2136 0285(64)1122
5/3	上久保医院（東富町） 近藤クリニック(栃･那須烏山市) 吉永医院（栃・茂木町）	(52)3181 0287(83)2250 0285(63)2303
4	一貫堂クリニック（下町） 佐野医院（栃・那須烏山市） 今井医院（栃・茂木町）	(54)7777 0287(84)1616 0285(63)0320
5	大曽根内科小児科（栄町） 塩谷医院（栃･那須烏山市） 大兼医院（栃・茂木町）	(52)0302 0287(88)2055 0285(63)0036
7	小泉医院（上町） 高野医院（栃・那須烏山市） 桜井内科（栃・茂木町）	(52)0116 0287(82)3803 0285(63)5131
14	志村大宮病院（上町） 滝田内科医院（栃･那須烏山市） 茂木中央病院（栃・茂木町）	(53)1111 0287(82)2544 0285(63)1151
21	岡崎外科医院（上町） 滝童内医院（栃･那須烏山市） もてぎの森「メディカルプラザ」（栃･茂木町）	(52)0547 0287(82)2175 0285(64)1122
28	丹治医院（東富町） 七合診療所（栃・那須烏山市） 吉永医院（栃・茂木町）	(53)2115 0287(82)2781 0285(63)2303

※市内の医療機関の診療時間は午前９時から午後３時までです。県外の医療機関については個別にお問い合わせください。
※当番医のやむを得ない都合により休診または、時間変更となることがありますので、電話で確認してからお出かけください。

5・6月の窓口業務延長日

5/11・18・25、6/1・8・15・22・29
（木曜日）

本庁及び総合支所では、毎週木曜日午後７時まで市民課等の窓口業務の一部を時間延長しています。

ROZE ロゼホール 常陸大宮市文化センターの予定

出演者の都合により、曲目、演目、その他を変更することがあります。　☎ 53-7200　FAX 53-7201

4/23（日）アイーダ･ゴメス スペイン舞踊団「カルメン」

巨匠カルロス･サウラ監督の新作映画「イベリア」からの抜粋とスペイン舞踊界のスターダンサー、アイーダ･ゴメスの新作「カルメン」、天才舞踊家の魅力を堪能できるプログラムです。

開場／17:30　開演／18:00

全席指定
S席／8,000円　A席／7,000円

好評発売中

7/15（土）杏里コンサート ANRI CONCERT TOUR '05～'06

「CAT'S EYE」や「オリビアを聴きながら」など数々のオリジナル曲に加え、洋楽のカバーなど大人の音楽を楽しませてくれるANRI。太陽の光のように、心地よい幸福感に溢れる歌声をお贈りします。

開場／17:30　開演／18:00

全席指定
S席／6,000円　A席／5,000円

好評発売中

8/6（日）香西かおりコンサート

ストロング･スタイルな魅力を宿した楽曲と、艶やかな歌声をお楽しみください。

開場／13:30　開演／14:00

全席指定
S席／5,000円　A席／4,000円

チケット発売日
5月13日(土)
午前９時(窓口)　午後１時(電話予約)

※チケット販売は、ロゼホールのほか９ヵ所で行っています。
ただし、電話予約はロゼホールのみとなりますのでご注意ください。

今月の表紙

いきいきウォーキングDAY!

三太の山郷（やまざと）ハイキング

３月４日、「三太の湯」をスタートに、休場展望台を経由して「三太の湯」まで戻るコース、約６㎞を歩きました。

教育委員会山方事務所と山方地域体育協会により開催されたもので、お年寄りから子どもまで約60人が参加しました。

参加した皆さんは、澄み切った青空のもと、野山の自然に触れながらハイキングを楽しみました。

豊島区の森　木こり隊ツアー

３月25日、おがわふれあいの森に集まった豊島区の皆さんが、のこぎりやかまを片手に汗を流しました。

昨年から本格的に始まった豊島区との交流。11月に同森内に桜の木や水芭蕉を植え交流を実施しましたが、今回は「木こり隊ツアー」として、森林組合や緒川グリーン協議会、緒川フォレスト、みどりの少年団の協力のもと、間伐や下草刈りを実施しました。

豊島区の水島助役をはじめ39人の豊島区民が参加し、汗ばむほどの陽気の中、チェーンソーやのこぎり、かまなどを使って木を倒したり、枝を切るなど森の中を整備しました。中には作業中見つけた植物をお土産にする姿も見られ、普段はなかなか味わえない作業を楽しそうに進めていました。

また、その後はやすらぎの里公園に移動し、山野草の寄せ植えや散策、お風呂などで思い思いに過ごし、かざぐるまでお土産を買うなど、ツアーの１日を満喫していたようです。

▲初めてチェンソーに挑戦！

▲作業した後のお昼は最高!!

常陸大宮済生会病院 建設状況カメラ －平成18年４月４日現在－

●病院ホームページもご覧ください。
アドレス　http://www.ho-saisei.jp

健康ごぜんやま　高血圧にならないための集い

御前山地域では、国や県に比べて心臓病や脳卒中による死亡者や、その下地となりやすい『高血圧症』で治療が必要な方が多くみられることから、４年前から『高血圧予防対策』を重点事業として取り組んでおり、１年間の活動のまとめとして、毎年この集いが開かれています。今年は３月４日、御前山市民センターにおいて開催され、約150名の方が参加しました。

集いでは、模範となる健康づくりを実践している６人の方が元気アップ賞を受賞。また、教室参加によりウォーキングの習慣化と地域の子供たちの安全を守る活動に広がったという体験発表や、教室受講生による音楽に合わせたリズムストレッチング、小児生活習慣病予防寸劇の発表がありました。

その後、御前山診療所三塚繁先生を招いて「生活習慣病の予防について～高血圧を中心として～」と題した講演があり、高血圧予防の必要性と具体的な予防について丁寧にご指導いただきました。

また、食生活改善推進員が作った減塩・ヘルシーメニューが手渡されました。

今後も、楽しく無理なく健康づくりを実践し、高血圧を予防していきましょう。

広報 常陸大宮　４月　第19号
発行日　平成18年４月17日
編集・発行
常陸大宮市総務部情報政策課
〒319－2292
茨城県常陸大宮市中富町3135－6
☎ 0295(52)1111　FAX 0295(53)6010
E-mail　email@city.hitachiomiya.lg.jp
ＵＲＬ　http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/
□広報常陸大宮は、ホームページでもご覧になれます。

常陸大宮市の人口（３月１日現在・推計常住者）

総人口47,649人（男23,216人、女24,433人）
世帯数16,044世帯

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています